

大学院同窓会からのお知らせ

○上越教育大学大学院同窓会の歴史、目的、事業

大学院同窓会事務局長 中村 雅彦（理科コース3期生）

上越教育大学大学院同窓生の皆様、全国各地の学校現場・教育行政機関でご活躍のことと存じます。上越教育大学大学院は、平成17年4月に298名の入学者を迎えました。298名の入学者数は、本学開学以来、最多の人数です。4月11日には、入学者を対象に大学院同窓会入会案内を開催し、同窓会事務局が同窓会の歴史、目的、事業内容を説明させていただきました。毎年、入学時に説明会を開いているのですが、一部の同窓生の方から、昔のことなので同窓会の歴史、目的、組織、事業について忘れてしまったという声を聞きます。そこで、この場を借りてあらためて皆様にお知らせします。

1 歴史

上越教育大学大学院同窓会は、昭和58年に入学した一期生が院生協議会をつくり、その一期生が修了する時つくった修士会に遡ります。昭和60年8月22日、23日に設立総会を本学で行なったそうです。その後、大学の寄附金が必要な時に会費前納制、役員は在学生という形になり、平成3年には、上越教育大学大学院後援会という名称に変わりました。平成10年には、会則を定め上越教育大学大学院同窓会が設立されました。平成16年に本学は、国立大学法人上越教育大学になりました。大学の法人化にあわせ、平成10年に定めた会則を吟味し、平成16年7月27日に会則を一部変更しました。変更の大きな点は、本会に各県やブロック単位の支部をおくことと評議員に支部のメンバーを加えたことです。平成10年の会則は、同窓会とはいいながら役員は在学生だけでした。平成16年の会則変更により、修了生の支部を置くことができ、同窓会本来の姿になったわけです。

平成16年10月2日に国立大学法人上越教育大学設置記念式典が開催されました。大学院同窓会は、この式典にあわせ、新大学院同窓会発足式を講義棟301教室で開催し、各県から総勢60余名の同窓生のご参集を得ました。

2 目的と組織

大学院同窓会の目的は「会員相互の親睦と啓発をはかるとともに教育に関する諸問題に対して意見を交流し、併せて上越教育大学の発展充実に寄与すること」です。

現在の同窓会の会長は新部嘉一先生（教育経営1期生）、副会長は矢野利雄先生（技術1期生）、笹川辰雄先生（美術1期生）、寺田喜男先生（社会4期生）の3名です。

同窓会には理事会があり、理事が同窓会の実質的な運営に当たります。理事会には総務部、会計部、事業部、広報部、名簿部があります。理事会は上越教育大学大学院を修了し、現在、上越教育大学で教鞭をとる8名の教員で構成されています。事務局長の私は各部を統括する立場にあります。

3 事業

具体的な事業として、（1）会員相互及び本学との連絡に関する事、（2）会員の名簿の発行に関する事、（3）会誌等の発行に関する事、（4）本会の将来計画に関する事、（5）本学に関する各種助成に関する事、（6）その他目的を達成するために必要な事業があります。

平成16年まで名簿の発行は定期的に行なってきましたが、それ以外の活動は低調でした。具体的には、大学に対する助成がほとんどで、海外教育研究助成、奨学寄附金助成、卒業・修了式祝賀会費助成、院生協議会研修会助成、学位論文概要作成助成等です。会誌等の発行は検討されていましたが、予算的に厳しく、前回同様「JUEN—上越教育大学学園だより—」を通して大学院同窓会の動向を皆様にお知らせします。また、同窓会のホームページづくりも懸案事業のひとつです。

4 今後の課題

上越教育大学学園だよりの創刊号で新部嘉一大学院同窓会長が述べているように今後の課題は「会員と大学との連携」と「都道府県やブロックでの同窓会支部づくり」です。特に同窓会支部づくりは今までにない大きな事業ととらえています。昨年は新潟県、今年は静岡県で支部が立ち上がりました。また、平成17年8月7日には第一回関東甲信越静岡ブロックの同窓会を東京で開催し、21名の同窓生が集まり、同窓生及び学長団との懇談の機会を得ることができました。

同窓会支部を設立するには連絡費等のお金もかかりますし、学長団や教員の派遣・講師の依頼など懸案事項は山積みです。その際は、遠慮なく同窓会事務局の私宛に申し出て下さい。同窓会として最大限、対応します。

また、皆様方を通して、現場の先生方に本学大学院への進学を勧誘して下さい。本学大学院の入学定員は300名です。定員充足は本学大学院の使命でもあります。同窓生の数の上昇は同窓会費の上昇にもつながり、充実した事業が行なえます。



平成17年度大学院入学式後に行われた同窓会入会案内の様子

お知らせ

平成16年の会則変更の折、同窓会は大学に同窓会の部屋の確保と事務員の協力を要請してまいりました。部屋の確保の理由は、同窓会で会議等を行うのに学内には適切な部屋が無く、会議をしばしば学外で行ってきた経緯があるからです。事務員の協力の理由は、4,000名を超える同窓生への事務連絡は、同窓会事務局だけでは不可能になってきたからです。

これらの要望に対して、大学から快く部屋を提供していただき、同窓会との連携を担当する職員を配置していただきました。平成17年5月24日には同窓会連携事務室（人文棟3階にあります）の引渡式を開催していただき、渡邊学長をはじめとする学長団、大学院同窓会の新部嘉一会長、学部同窓会の笠原芳隆会長とともに記念撮影もしていただきました。また、今まで同窓会が担ってきた名簿作成に関しても大学の協力を得ることができました。

現在、同窓会は大学の全面的なバックアップを受けています。



同窓会連携事務室引渡式

(左から、中村大学院同窓会事務局長、笠原学部同窓会会長、新部大学院同窓会会長、渡邊学長、梶原事務局長)

○大学院同窓会への問い合わせ先

大学院同窓会事務局長 中村 雅彦
(自然系教育講座(理科)教授)
E-mail: masahiko@juen.ac.jp